

令和2年11月13日

各位

会社名 株式会社リアルワールド  
住所 東京都渋谷区元代々木町30番13号  
代表者名 代表取締役社長 菊池誠晃  
(コード番号：3691 東証マザーズ)

問い合わせ先 執行役員 樋口隆康

TEL. 03-5465-0690

## 特別損失（減損損失等）の計上等及び通期業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、令和2年9月期において特別損失等を計上する見込みとなったこと、また、本日公表の実績値（通期業績）と前期実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失について

##### (1) 減損損失

令和2年9月期において、当社グループが保有する固定資産について、回収可能性を慎重に検討し、以下のとおり、特別損失を計上いたしました。

##### ①ソフトウェア等（連結・個別）

令和2年9月期において、当社が保有するソフトウェア等を減損処理により32百万円を特別損失に計上いたしました。

##### ②建物附属設備等（連結・個別）

令和2年9月期において、当社が保有する建物附属設備等を減損処理により22百万円を特別損失に計上いたしました。

##### ③ソフトウェア等（連結）

令和2年9月期において、当社子会社が保有するソフトウェア等を減損処理により38百万円を特別損失に計上いたしました。

##### (2) 投資有価証券評価損（連結）

令和2年9月期において、当社子会社が保有する投資有価証券を評価した結果、減損処理により64百万円を特別損失に計上いたしました。なお、本日開示した「令和2年9月期 決算短信 [日本基準]（連結）」に添付している「連結損益計算書及び連結包括利益計算書」に記載の投資有価証券評価損である84百万円のうち、20百万円については、令和2年8月14日付け「特別損失（投資有価証券評価損）の計上に関するお知らせ」のとおり、令和2年9月期 第3四半期累計期間において計上しております。

#### 2. 繰延税金資産の取崩し等について（連結・個別）

当社における繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、令和2年9月期において繰延税金資産を取崩し、繰延税金負債を計上した結果、法人税等調整額を28百万円計上いたしました。

### 3. 令和2年9月期実績と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 2,473	百万円 △374	百万円 △377	百万円 △25	円 銭 △7.40
当期実績 (B)	586	△320	△302	△523	△152.47
増減額 (B-A)	△1,886	54	74	△497	
増減率 (%)	△76.3	—	—	—	

### 4. 差異が生じた理由

売上高につきましては、戦略的な選択と集中に基づき、前期において実施したノーザンライツ株式会社、及び株式会社マークアイを売却したことに伴い、減少しています。営業利益につきましては、子会社売却を含むリストラクチャリングを行い前期実績比較で販売費及び一般管理費を736百万円削減する一方、新規事業への投資も行い前期実績比較で54百万円の増加に留まりました。親会社に帰属する当期純利益につきましては、前期においては株式会社マークアイを売却したことに伴い関係会社株式売却益を915百万円計上していたことにより親会社に帰属する当期純利益を押し上げる一方、令和2年9月期においては、前期実績比較で497百万円の減少となっています。

### 5. 営業外費用の計上 (個別)

当社連結子会社でフィンテック事業を行っている株式会社 REAL FINTECH に対する貸付について投資フェーズであることを踏まえ、回収可能性を慎重に検討した結果、令和2年9月期において、貸倒引当金繰入額50百万円を営業外費用に計上いたしました。なお、当該営業外費用については、個別財務諸表のみで計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以 上